

印刷会社の悲痛な叫びをお聞きください！

製紙会社がそろって値上げを通告 一律・一斉「15%以上」でお客様と印刷産業を愚弄

製紙会社各社は今春、6月からの印刷用紙の値上げを一方的に通告してきました。

「古紙配合率偽装問題」には頬かむり

年初から、製紙会社による再生紙の古紙配合率の偽装問題が明るみに出て、お客様にも多大なご迷惑をおかけしましたが、製紙会社はその「古紙配合率偽装問題」をうやむやにしたまま、「いけしゃあしゃあ」と“一律・一斉”に印刷用紙の「15%以上」の値上げを宣言したのです。

昨今、様々な“偽装”問題がありましたが、いずれも問題の企業のトップは辞任して責任をとっていますが、何とほとんどの製紙会社の社長連中（日本製紙を除く）は“昔から行われてきたこと”と知らぬ顔を決め込んでトップに居座り続けるばかりか、「この問題はすでに解決済み」とまで言っています。信じられますか？ このあつかましさ！

偶然に？ “一律・一斉”に「15%以上」の値上げ！ 公取に調査依頼も

挙句の果ての今回の「値上げ」です。製紙会社は、偶然にも（？）“一律・一斉”に「15%以上」の値上げをするというのです。しかも、実は昨年にも印刷用紙は値上げされたばかりです。

いずれのメーカーも“値上げは原材料・燃料高によるコストアップが自助努力の範囲を超えたため”と、とってつけた理由をあげていますが、“一律・一斉”に「15%以上」という不自然極まりない値上げが、その理由を自ら否定しています。私たち印刷産業では、製紙会社に対して値上げの根拠を数値で示すように求めています、拒否されています。

それはそうですよね。根拠のある値上げであれば、“一律・一斉”に「15%以上」の値上げということはありえません。これは世間の常識・良識から大きく逸脱した蛮行と言わざるを得ません。印刷産業では、製紙業界のこの横暴な振る舞いについて、公正取引委員会に調査の依頼を始めたところ、

他の産業の皆様が、消費者のことを第一に考え、必死に頑張りながら最近ようやく最小限の値上げに踏み切り始めましたが、なぜ製紙会社だけがそんなに簡単に、何度も何度も値上げするのでしょうか。そこには、社会・生活・産業の各場面で欠かすことのできない必需品である「紙」を「欲しければ売ってやる」という態度が見えてきます。

まもなく、ティッシュやトイレトペーパーなどの生活用紙も大幅な値上げとなります。

製紙会社の横暴に中小印刷業は悲鳴を上げています！

ことに「印刷用紙」については、製紙会社はお客様に顔を合わせることなく、私たち印刷会社の陰に隠れて商売をしていますから、「古紙配合率偽装問題」のいい加減な対応しかり、“一律・一斉”の度重なる値上げしかり、やりたい放題です。

今までの「印刷用紙」の値上げについては、お客様に迷惑のかからないよう、私たち印刷会社が企業努力で吸収してきました。しかし、もはや限界を超えてしまいました。

是非、お客様各位のご理解とご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

【 偶然にも（？）一致する 製紙会社の値上げ幅と値上げ時期 】

日本製紙	印刷用紙全品種 15%以上 (6月1日～)
王子製紙	印刷・情報用紙 15%以上 (6月1日～)
中越パルプ	印刷用紙 15%以上 / 高級板紙・特殊板紙 10%以上 (6月1日～)
紀州製紙	印刷・情報・包装用紙・特殊紙 15%以上 (6月1日～)
大王製紙	印刷・出版・情報用紙・特殊紙 15%以上 (5月21日～)
北越製紙	印刷・情報用紙 15%以上 / 高級板紙・特殊板紙 10%以上 (6月1日～)
三菱製紙	印刷・情報用紙 15%以上 (6月1日～)
日本大昭和	印刷・包装用紙 15%以上 (6月1日～)

><><><><><< 各種印刷・情報処理加工のご相談は... ><><><><><

(社名・電話番号・PR 等入れるスペース)

【編集】

社団法人

東京グラフィックサービス工業会

the Tokyo Graphic services industry association

<http://www.tokyographics.or.jp>